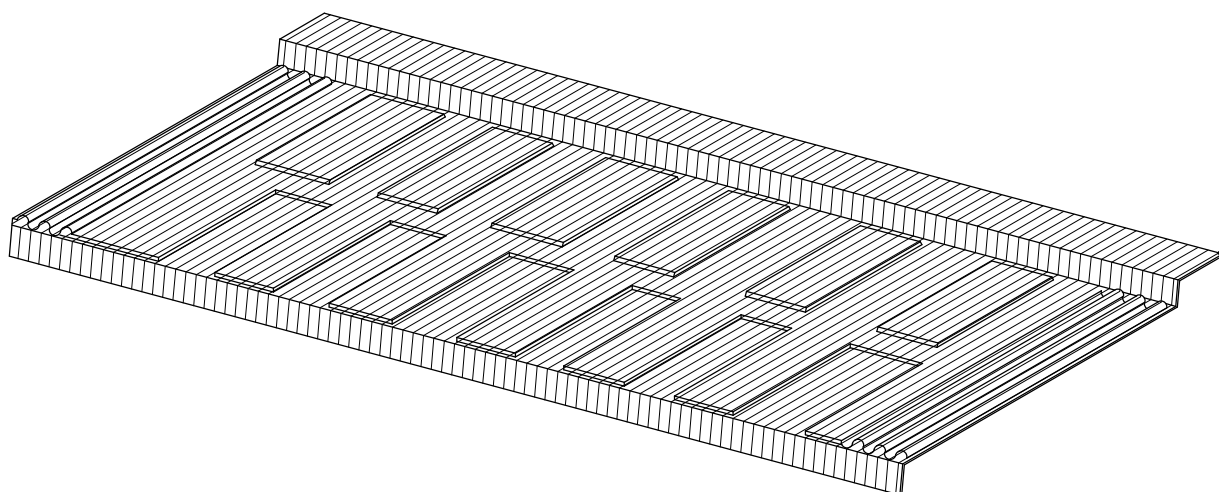


ハイブリット軽量屋根材  
(天然石＋ガルバリウム鋼板)

S－SHINGLE

－エス・シングル－

施工要領書



新東株式会社

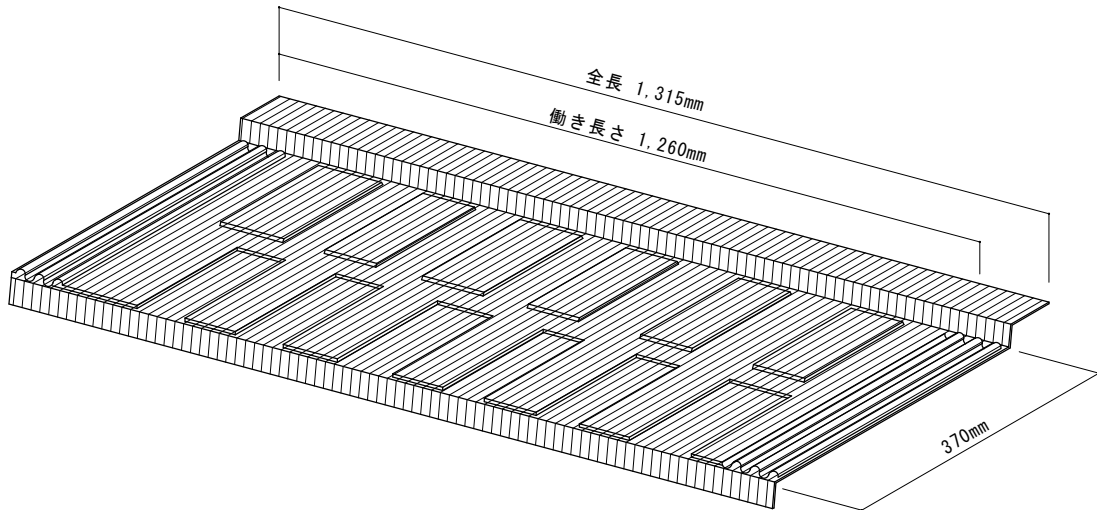
# 目 次

<b>1</b>	<b>製品紹介</b>	
1-1	製品形状	P2
1-2	製品仕様	P2
<b>2</b>	<b>部材（役物）</b>	
2-1	石粒付き部材	P3
2-2	石粒なし部材	P4
<b>3</b>	<b>下葺き</b>	P5
<b>4</b>	<b>各部分別施工方法の詳細説明</b>	P5
4-1	軒先部（下地）	P6
4-2	ケラバ部（下地）	P7
4-1	軒先部	P8
4-3	平部	P9
4-2	ケラバ部	P10
4-4	大棟部	P11～12
4-5	隅棟部	P13
4-6	谷部	P14
4-7	壁際部（妻）	P15
4-8	壁際部（桁）	P16
4-9	片流れ部	P17
<b>5</b>	<b>施工時の注意点</b>	P18

# 1 製品紹介

## 1-1 製品形状

□ 本体 876001\*1



## 1-2 製品仕様

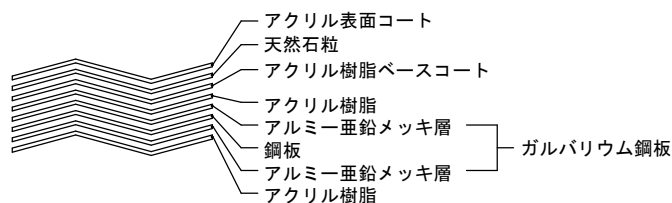
全長×全幅	1,315mm×430mm
働き長さ×働き幅	1,260mm×370mm
1枚重量	2.75kg
1㎡当り本体枚数	2.13枚
1㎡当り重量	約5.8kg
基材	ガルバリウム鋼板
鋼板厚み	0.4mm
表面仕上げ	玄武岩石粒
施工可能勾配	2.5寸勾配以上
不燃認定番号	国土交通大臣 認定番号 NM-3658

カラーバリエーション

Kブラック・Kブラウン

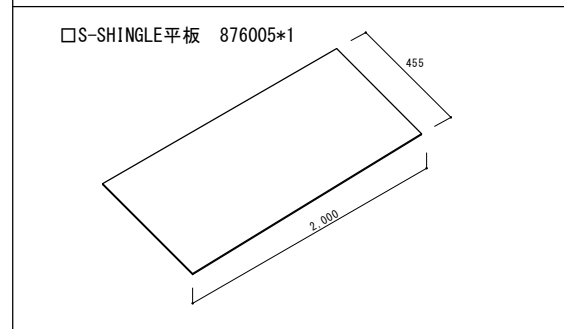
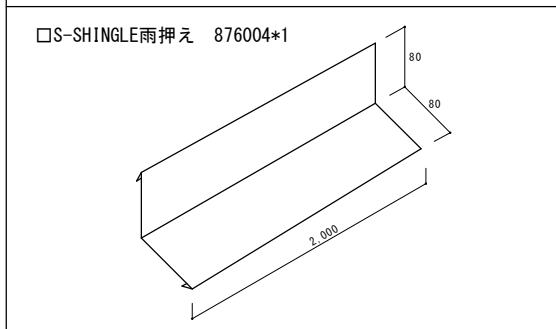
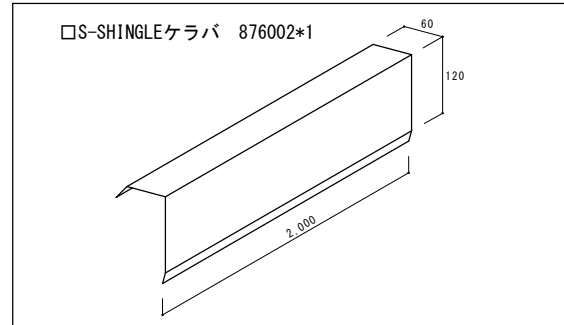
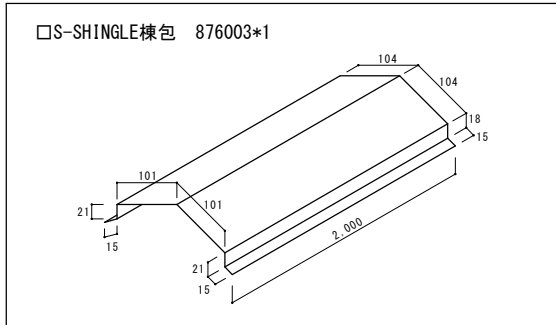
※2.5寸～3.5寸勾配は下地材に粘着ルーフィングの使用をお勧めします。

断面構造



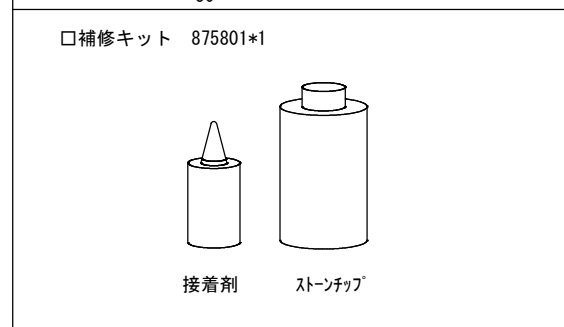
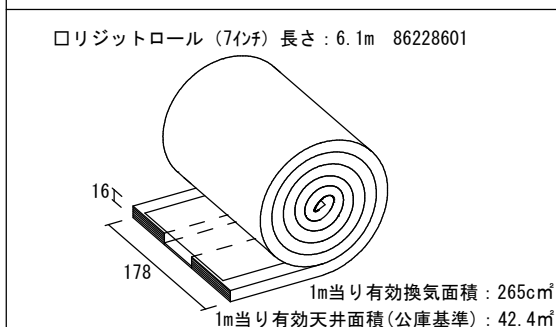
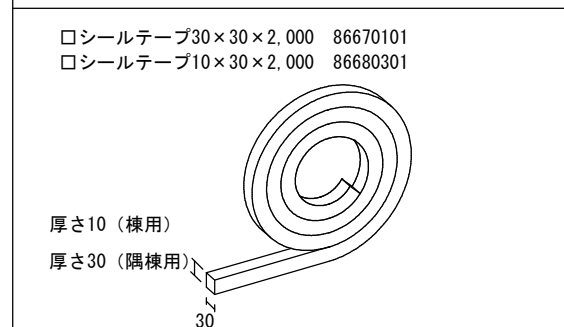
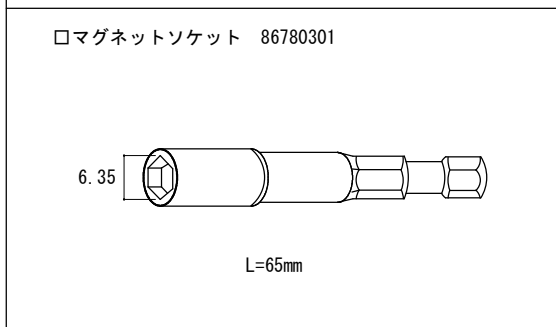
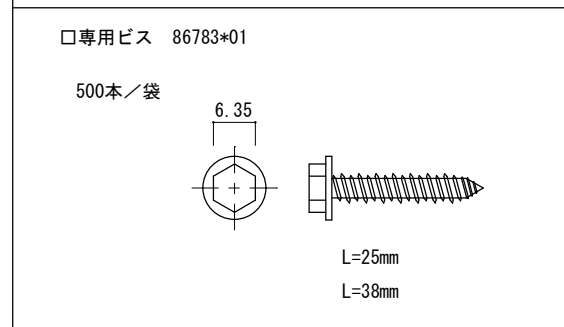
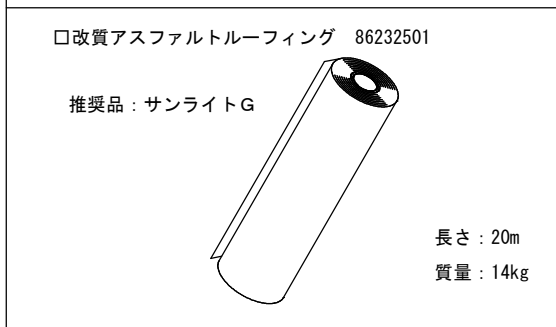
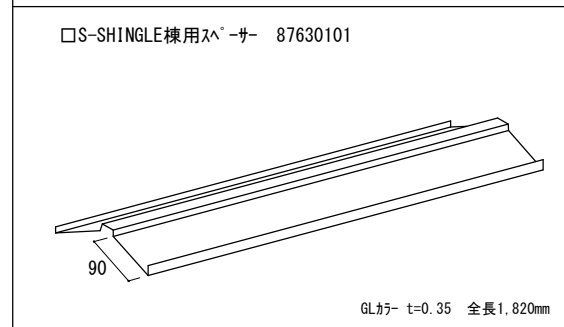
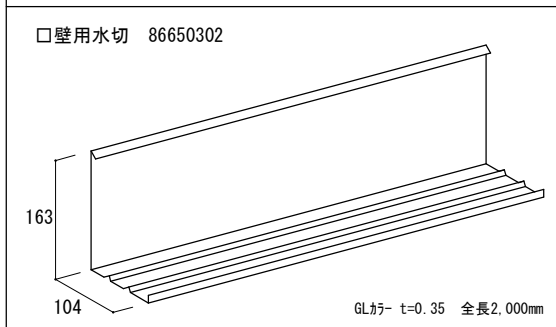
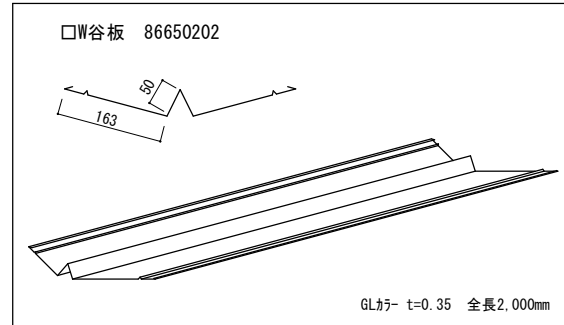
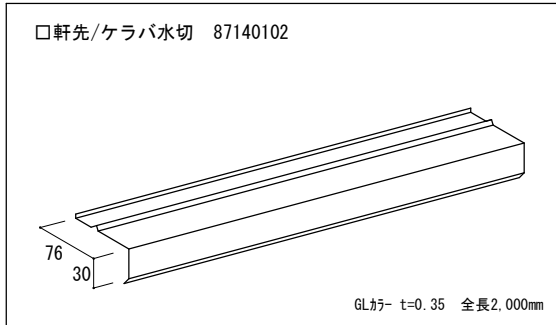
## 2 部材（役物）

### 2-1 石粒付き部材



## 2 部材（役物）

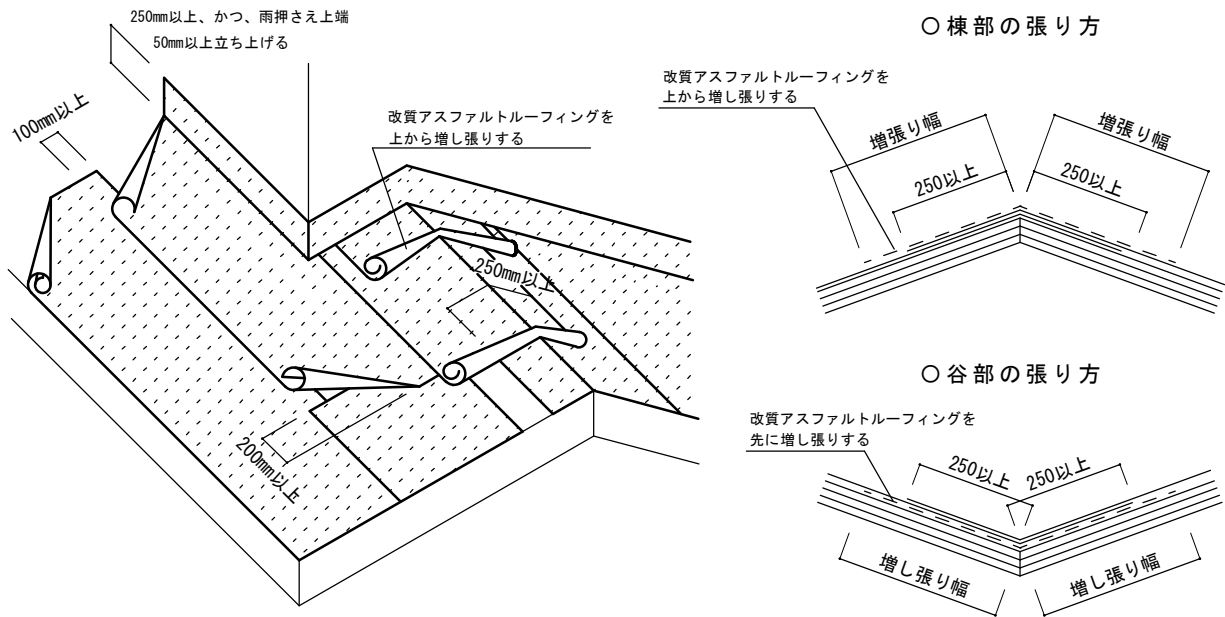
### 2-2 石粒なし部材



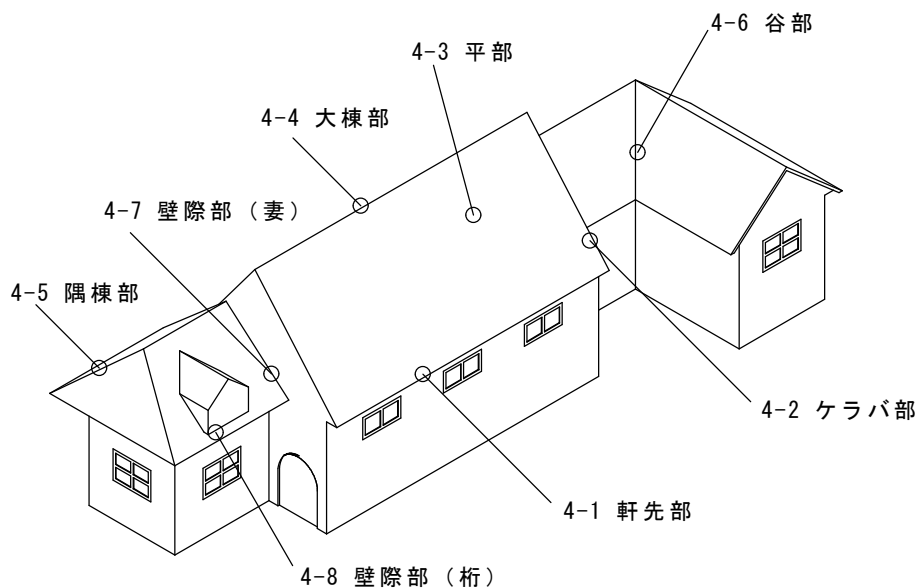
### 3 下葺き

#### 3-1 改質アスファルトルーフィング

- 改質アスファルトルーフィングを、軒先と平行に敷き、上下（流れ方向）は100mm以上、左右（長手方向）は200mm以上重ね合わせて下さい。
- 軒先は軒先唐草の上まで、ケラバ部は破風板の上面まで張って下さい。
- 棟部、谷部、壁際は下図の通り張って下さい。
- 改質アスファルトルーフィングが破れた場合は、シーリング又は防水テープで補修して下さい。



### 4 各部分別施工方法



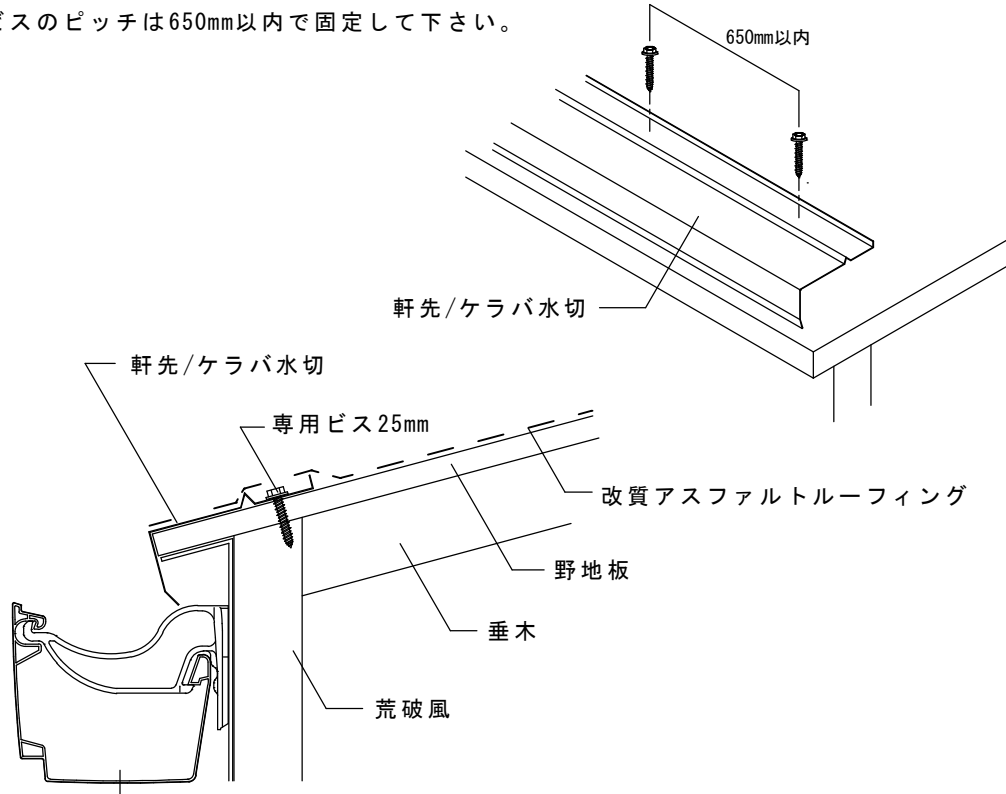
## 4 各部分別施工方法

### 4-1 軒先部（下地）

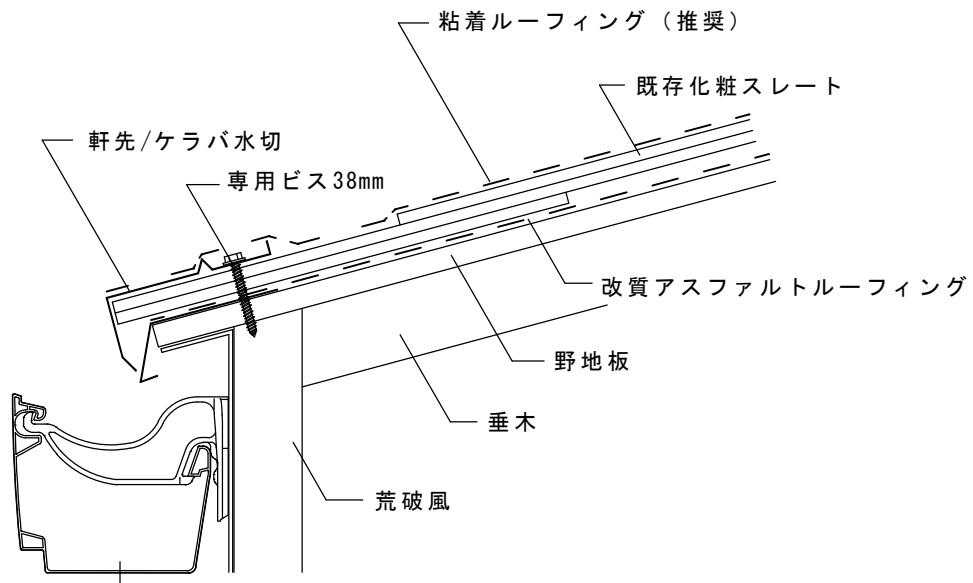
#### 一般

軒先/ケラバ水切のジョイント部は50mm以上重ねて下さい。

専用ビスのピッチは650mm以内で固定して下さい。



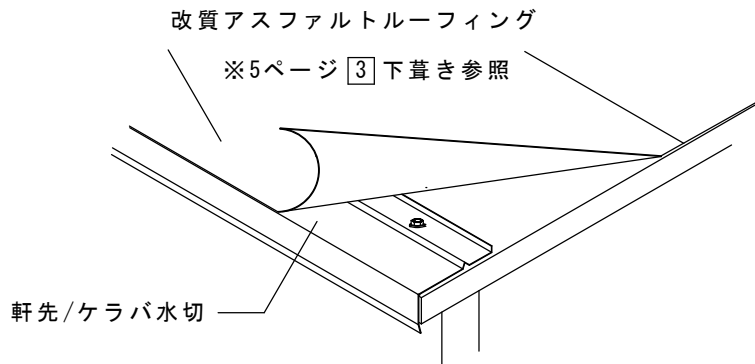
#### カバー工法



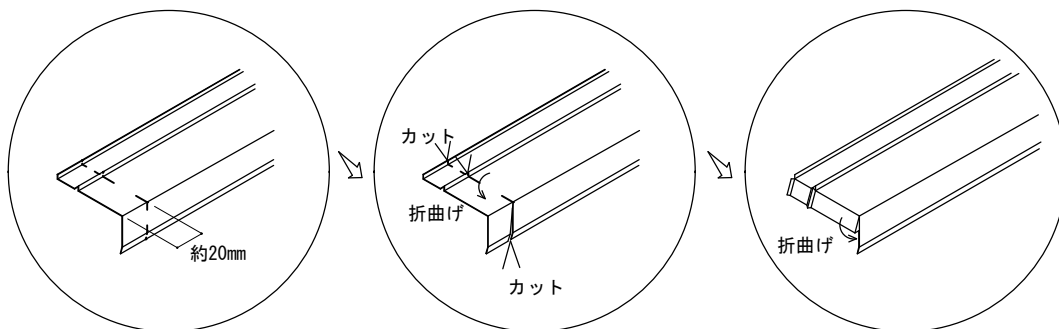
## 4 各部分別施工方法

### 4-2 ケラバ部（下地）

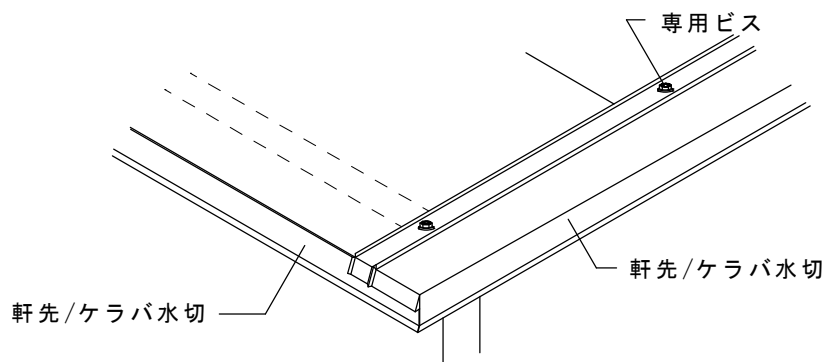
ケラバ部の軒先/ケラバ水切は改質アスファルトルーフィングを貼った後に取り付けます。  
軒先同様、軒先/ケラバ水切のジョイント部は50mm以上重ねて下さい。  
専用ビスのピッチは650mm以内で固定して下さい。



#### 【ケラバ用水切の加工】



ケラバ用の先端部は折曲げ加工が必要になります。  
上図の様に約20mmの箇所に折曲げ位置の印を付けます。  
横部と凸部をハサミでカットして折曲げます。  
不要部分はカットして下さい。



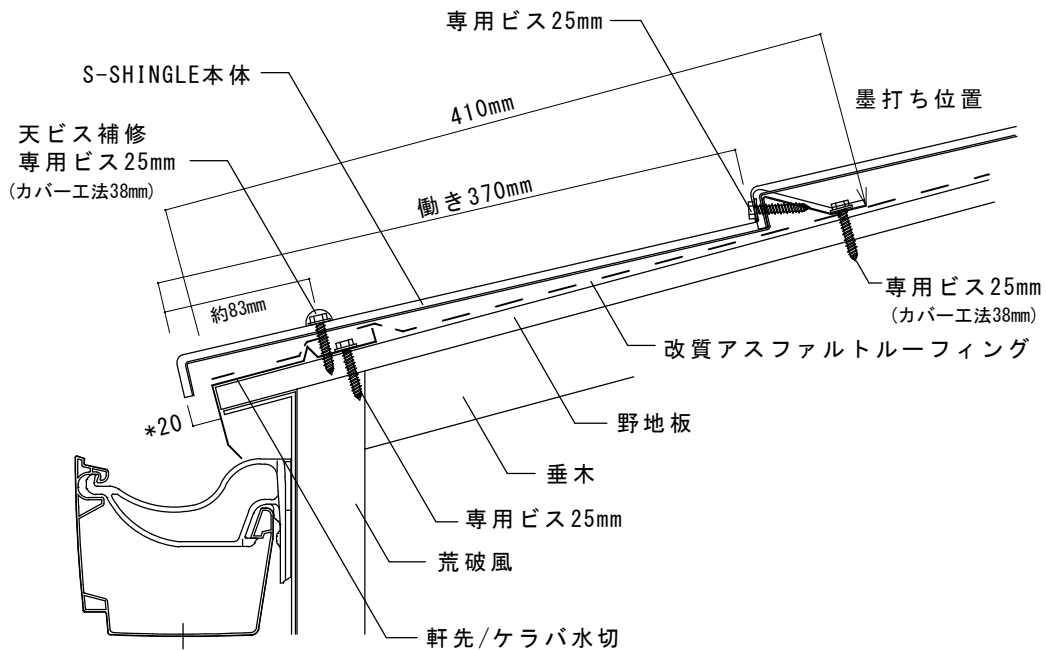


## 4 各部分別施工方法

### 4-1 軒先部

S-SHINGLE本体の出\*20mmの場合、410mmに墨打ちして下さい。

※出寸法20mmは基本です、雨樋に合わせて出寸法を調整して下さい。



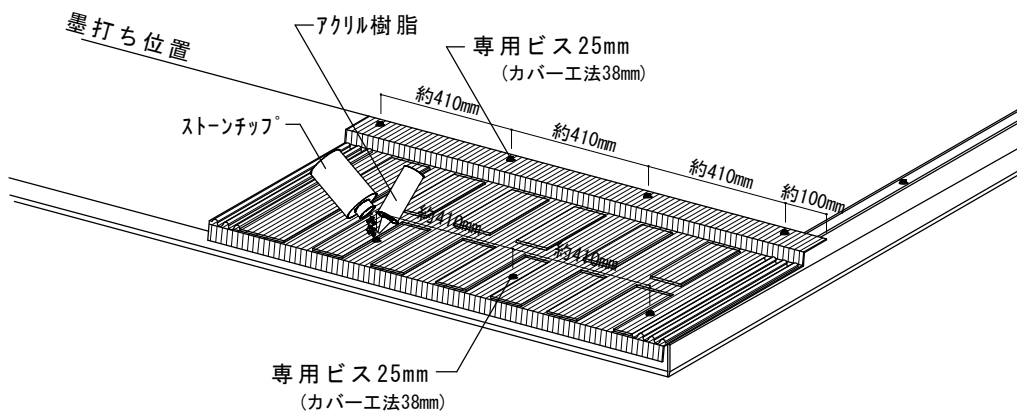
墨打ちに合わせて軒先一段目のS-SHINGLE本体を葺きあげて下さい。

ケラバ水切端部から約100mmの位置に専用ビス25mmで野地側に固定して下さい。

本体は専用ビス25mmを約410mmピッチで4本（重ね部含む）で固定して下さい。

本体は軒先から見て左右どちらからでも葺けますが、同じ屋根面では一定方向として下さい。

※天ビスは補修キットを用いて必ず補修して下さい。



## 4 各部分別施工方法

### 4-3 平部

2段目以降の施工は、S-SHINGLE本体見付け部を先に専用ビス25mmで、野地側同様に約410mmピッチで4本（重ね部含む）で固定して下さい。

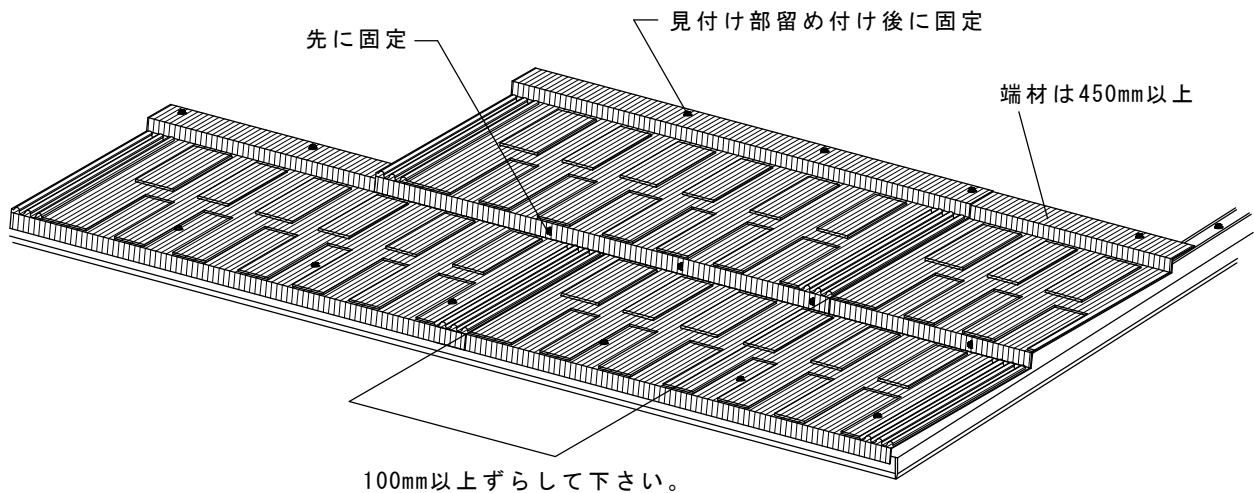
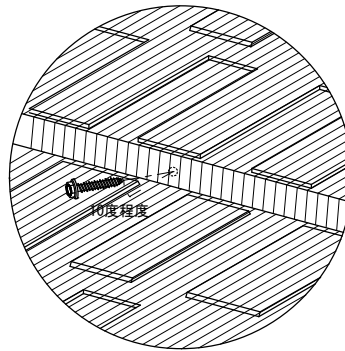
留め付けの際、本体を押えながら浮かない様に固定して下さい。

S-SHINGLE本体は軒先から見て左右どちらからでも葺けますが、同じ屋根面では一定方向として下さい。

千鳥葺きにする必要はありませんが、本体継ぎ目が100mm以上ずれるように端材(450mm以上)を有効利用して葺きあげて下さい。

#### ※注意事項

見付け部への専用ビス留め付け角度は本体より10度程度の角度で留め付けて下さい。10度以上の角度で留め付けると下葺材を破損する恐れがあるので注意して下さい。



## 4 各部分別施工方法

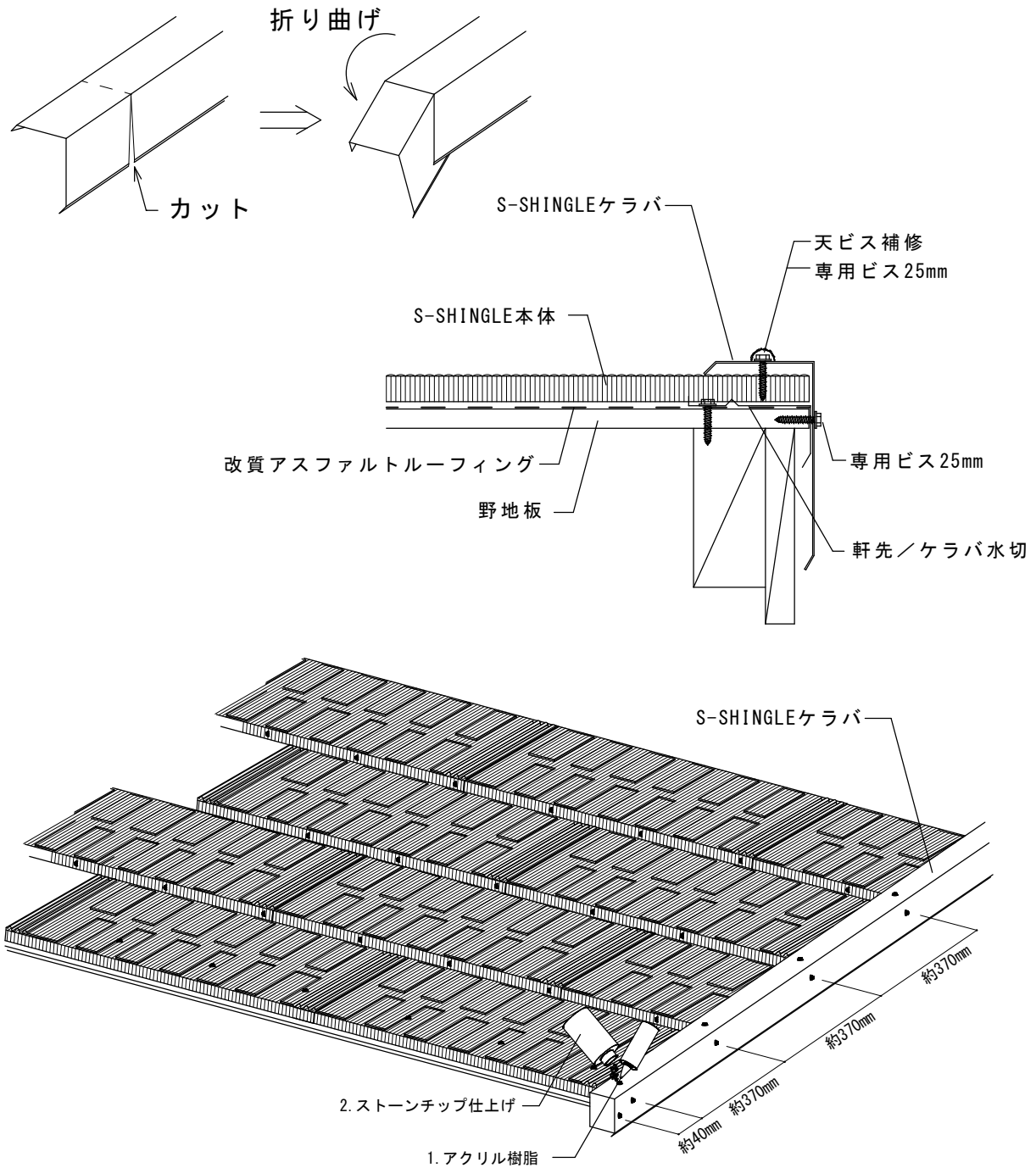
### 4-2 ケラバ部

ケラバ部先端は、S-SHINGLEケラバを下図のようにカット加工して下さい。

側面は専用ビス25mmで約370mmピッチで固定して下さい。

天ビスは本体重ね頂部ピッチで固定し、必ず補修して下さい。

S-SHINGLEケラバのジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして下さい。



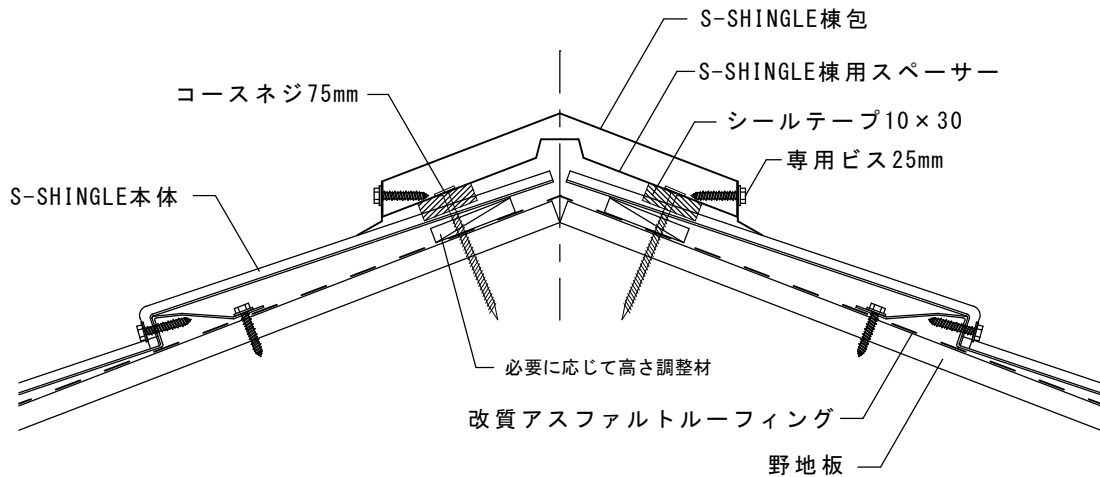
## 4 各部分別施工方法

### 4-4 大棟部

S-SHINGLE本体を葺き上げ、棟際の本体は必要に応じて高さ調整して下さい。

S-SHINGLE棟用スペーサー端部から約20mmにシールテープ10×30を貼り、棟用スペーサーを棟芯に合わせコースネジ75mmで約450mmピッチで固定して下さい。

S-SHINGLE棟包の通りを揃えて、専用ビス25mmで約450mmピッチで固定して下さい。



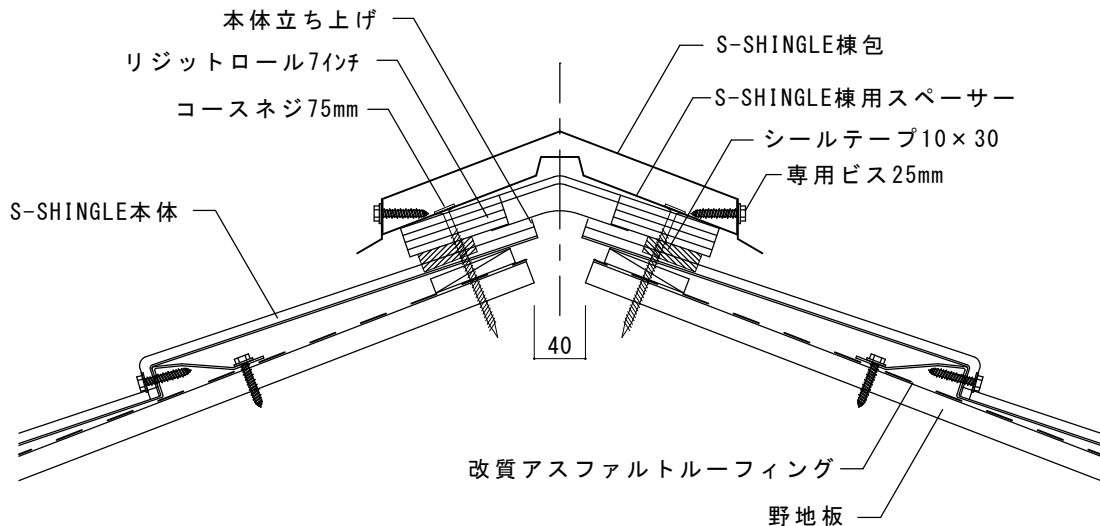
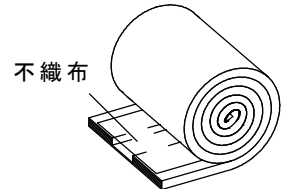
換気棟の場合、野地板を約40mm開けて下葦材も開けて下さい。

棟際の本体は15mm程度立ち上げて下さい。

リジットロール端部にシールテープ10×30を貼り、棟用スペーサーを棟芯に合わせコースネジ75mmで約450mmピッチで固定して下さい。

S-SHINGLE棟包の通りを揃えて、専用ビス25mmで約450mmピッチで固定して下さい。

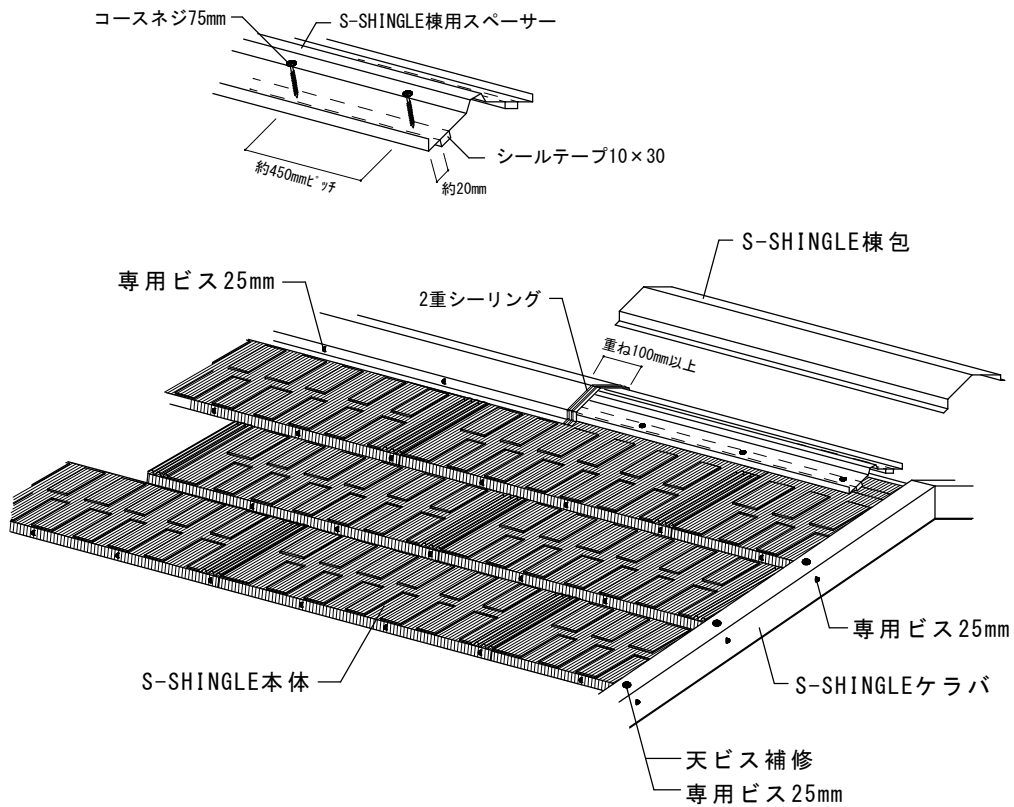
リジットロール 7インチ



## 4 各部分別施工方法

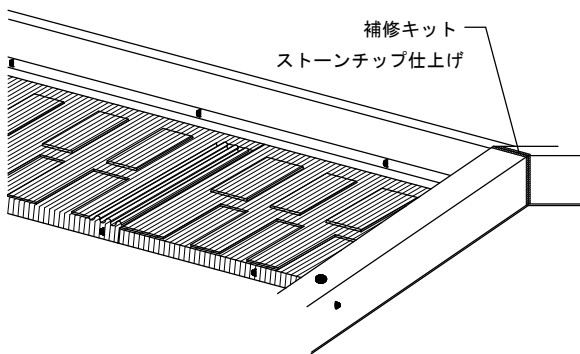
### 4-4 大棟部

S-SHINGLE棟用スペーサー端部から約20mmにシールテープ10×30を貼り、棟用スペーサーを棟芯に合わせコースネジ75mmで約450mmピッチで固定して下さい。  
S-SHINGLE棟包の通りを揃えて、専用ビス25mmで約450mmピッチで固定して下さい。  
S-SHINGLE棟包のジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして下さい。

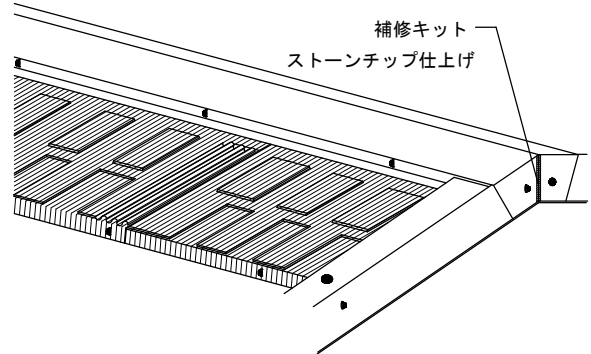


※本体頂部の高さによって、棟端部の納まりは異なります。

ケラバ勝ちの場合



棟勝ちの場合



## 4 各部分別施工方法

### 4-5 隅棟部

S-SHINGLE本体葺き上げ後、棟用スペーサー端部から約20mmの位置にシールテープ30×30を1段ごとに段差部は約100mm重ね合わせ貼って下さい。

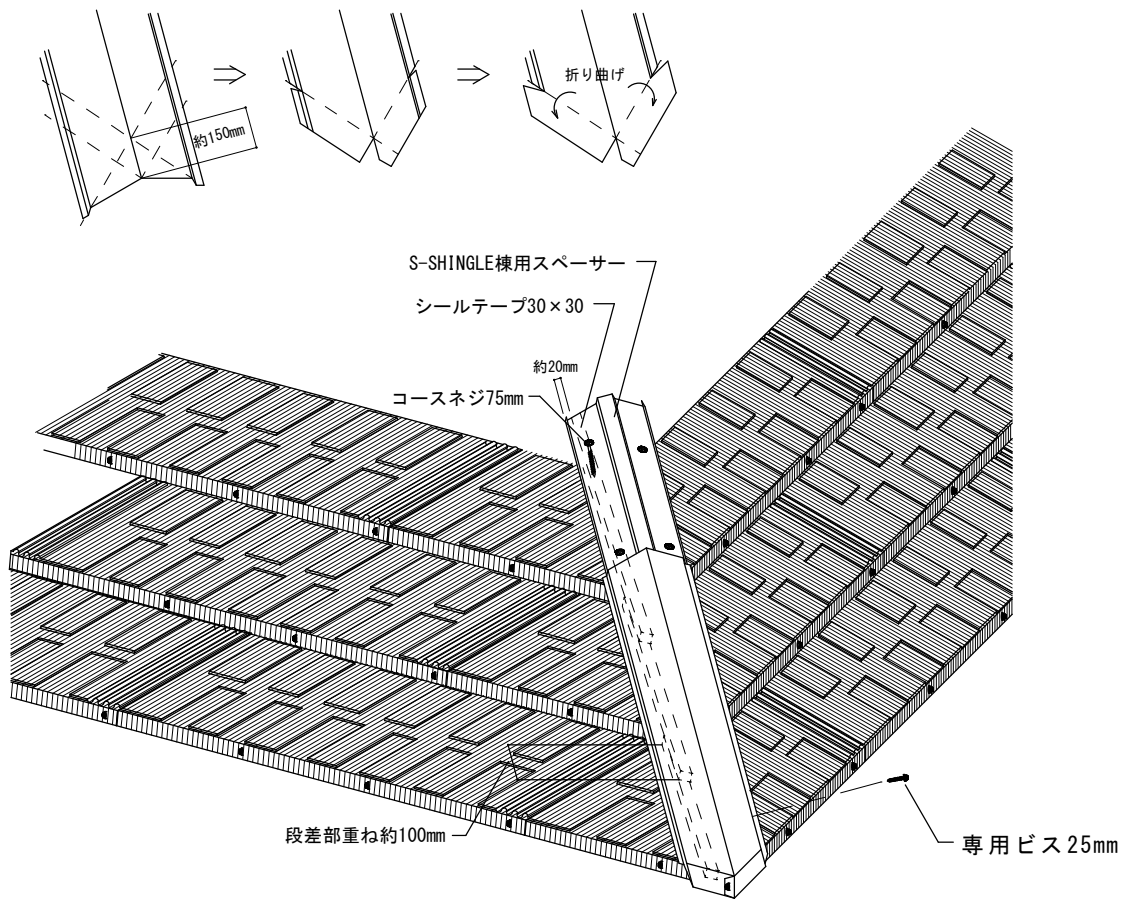
S-SHINGLE棟用スペーサーを棟芯に合わせコースネジ75mmで約450mmピッチで固定して下さい。

S-SHINGLE棟包の先端部は下図の様に加工して下さい。

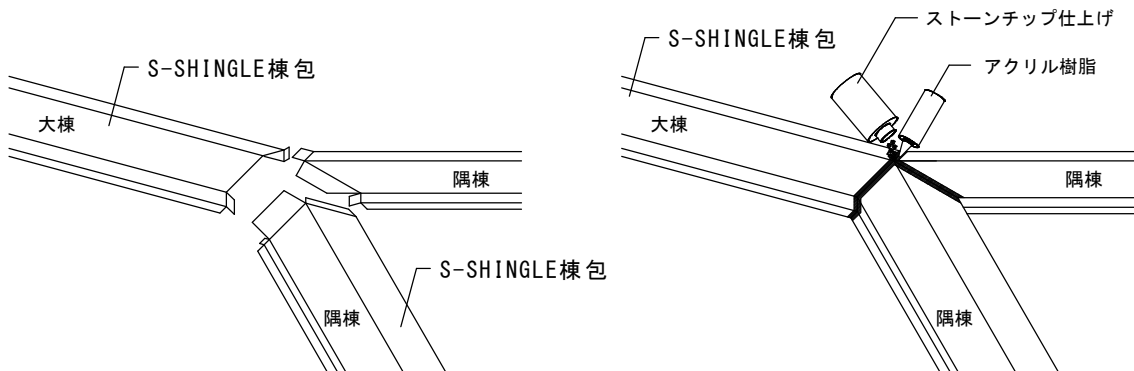
S-SHINGLE棟包の通りを揃えて、専用ビス25mmで約450mmピッチで固定して下さい。

S-SHINGLE棟包のジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして下さい。

S-SHINGLE棟包（先端部加工）



※三つ又部納め



## 4 各部分別施工方法

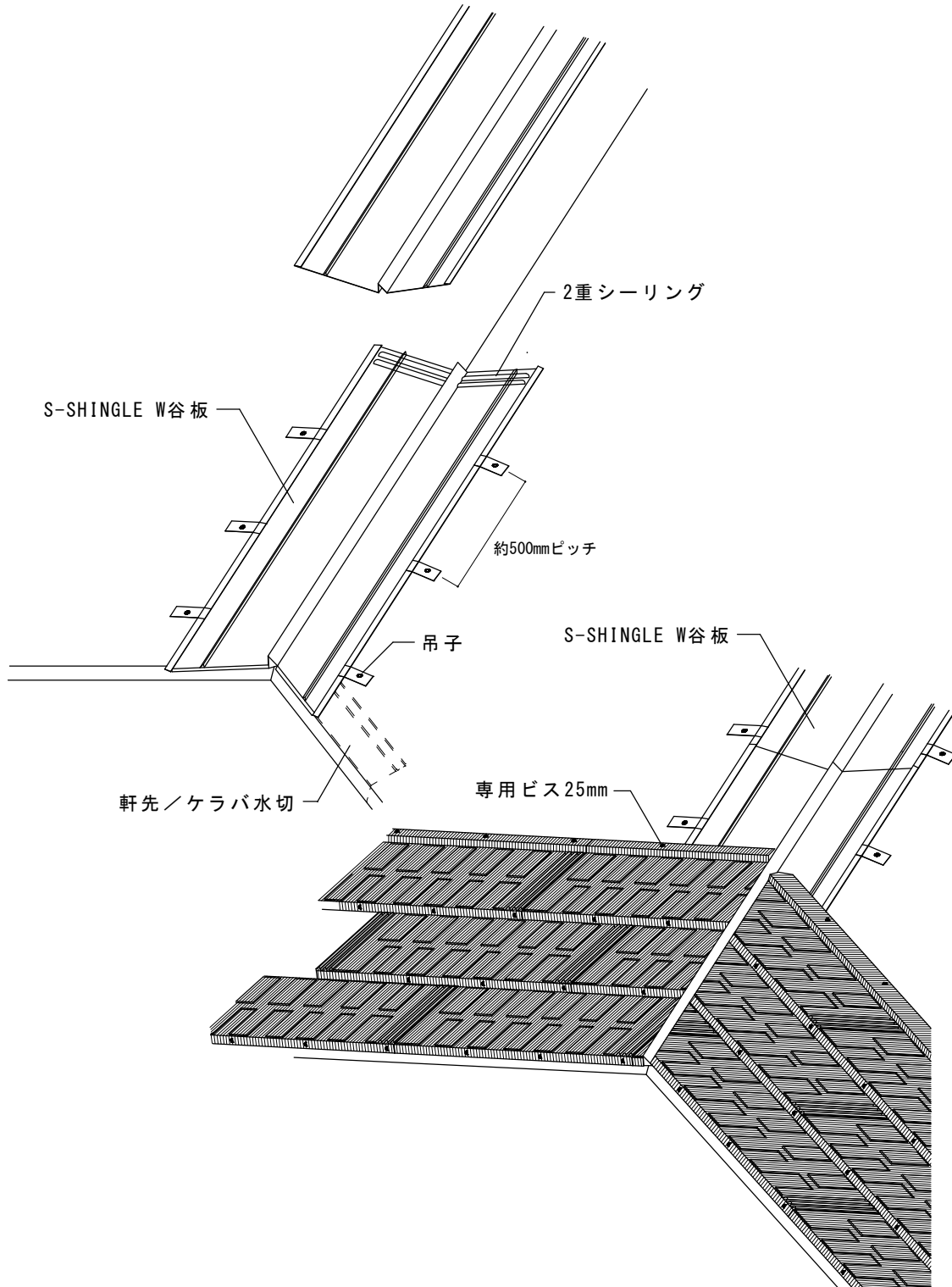
### 4-6 谷部

S-SHINGLE W谷板の先端を加工し、吊子等で約500mmピッチで固定して下さい。

W谷板のジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして下さい。

S-SHINGLE本体はW谷板立上げ部に合わせてカットして下さい。

W谷板内部に垂直の専用ビスは打たないで下さい。



## 4 各部分別施工方法

### 4-7 壁際部（妻）

流れ壁際部のルーフィングは250mm以上かつ雨押え上端より50mm以上立ち上げて下さい。

壁用水切を専用ビス25mmで野地側はビスのつば部をひっかけて固定して下さい。

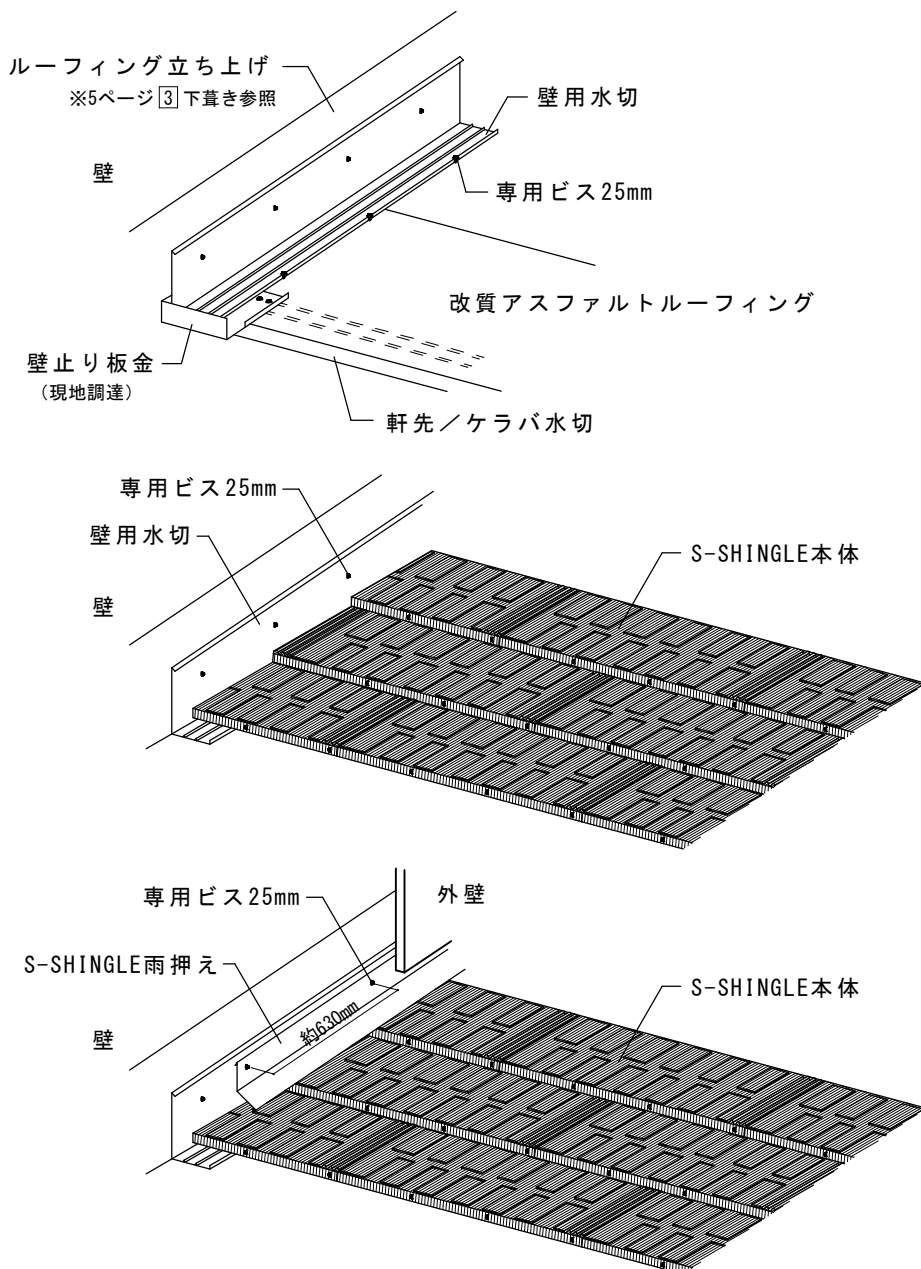
壁止りの場合、雨樋に水が流れる様に壁止り板金（現地調達）を取付けて下さい。

壁用水切のジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして下さい。

S-SHINGLE本体を壁際まで葺き上げて下さい。

S-SHINGLE雨押えを専用ビス25mmでピッチ約630mmで固定して下さい。

S-SHINGLE雨押えのジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして下さい。





## 4 各部分別施工方法

### 4-8 壁際部（桁）

壁際桁部のルーフィングは250mm以上かつ雨押え上端より50mm以上立ち上げて下さい。

S-SHINGLE本体を壁際桁部まで葺き上げて下さい。

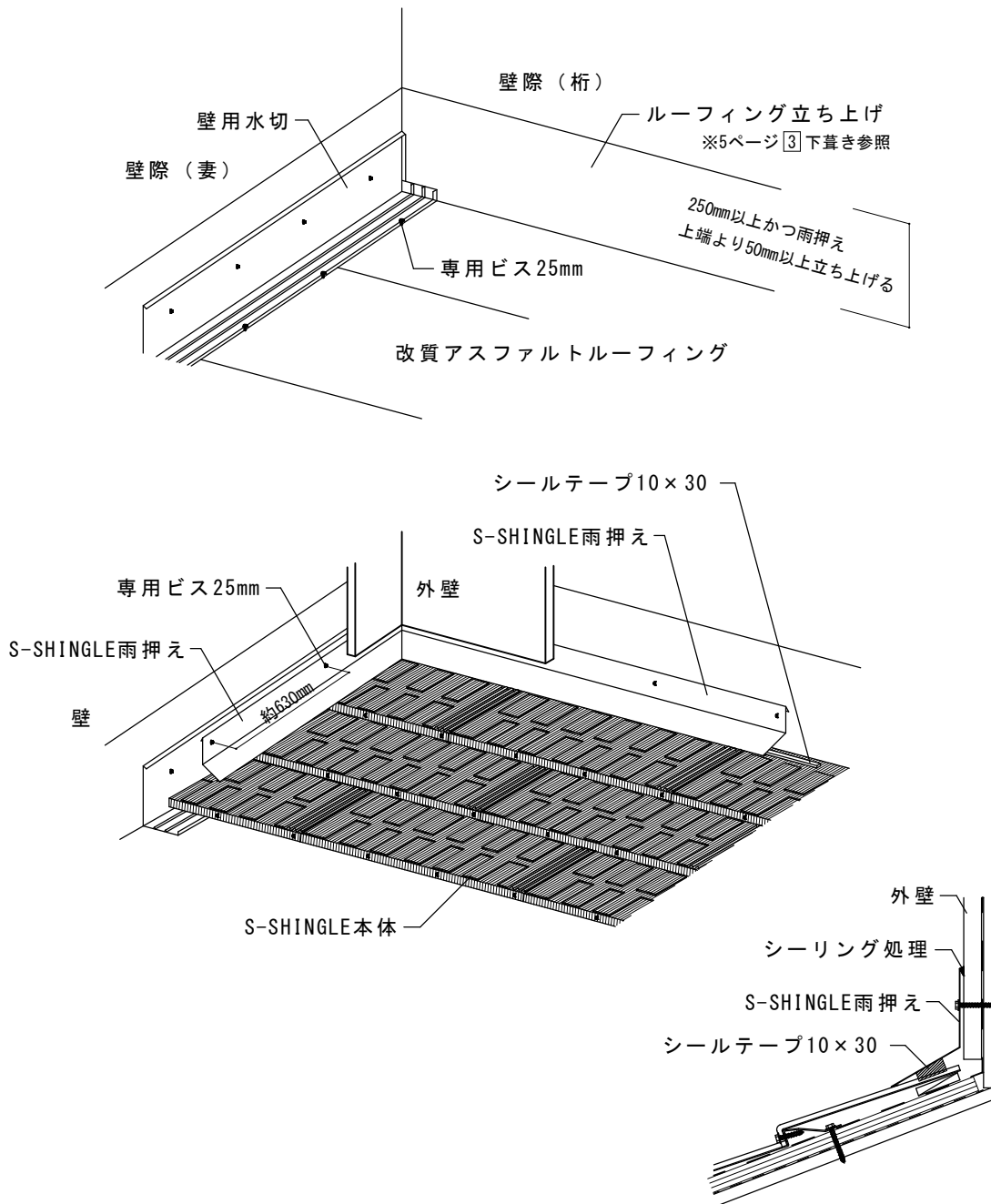
S-SHINGLE本体にシールテープ10×30を貼り、雨押えで押さえて下さい。

S-SHINGLE雨押えを専用ビス25mmでピッチ約630mmで固定して下さい。

S-SHINGLE雨押えのジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして下さい。

カバー工法でS-SHINGLE雨押えを外壁の外面に取付ける場合は、

S-SHINGLE雨押え上部にシーリング処理して下さい。



## 4 各部分別施工方法

### 4-9 片流れ部

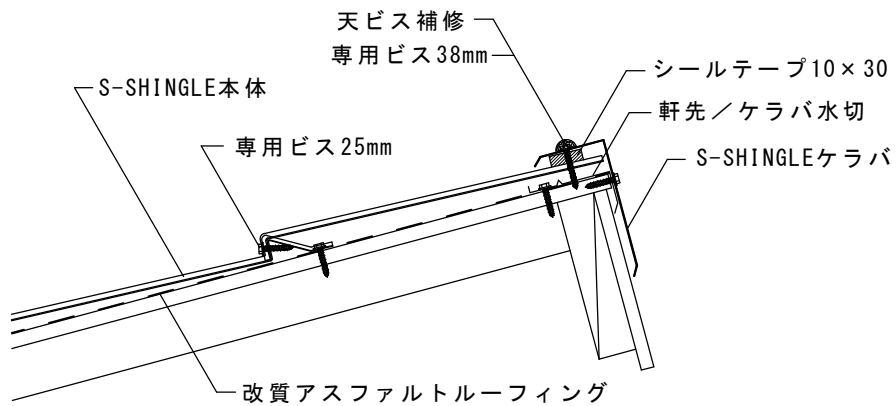
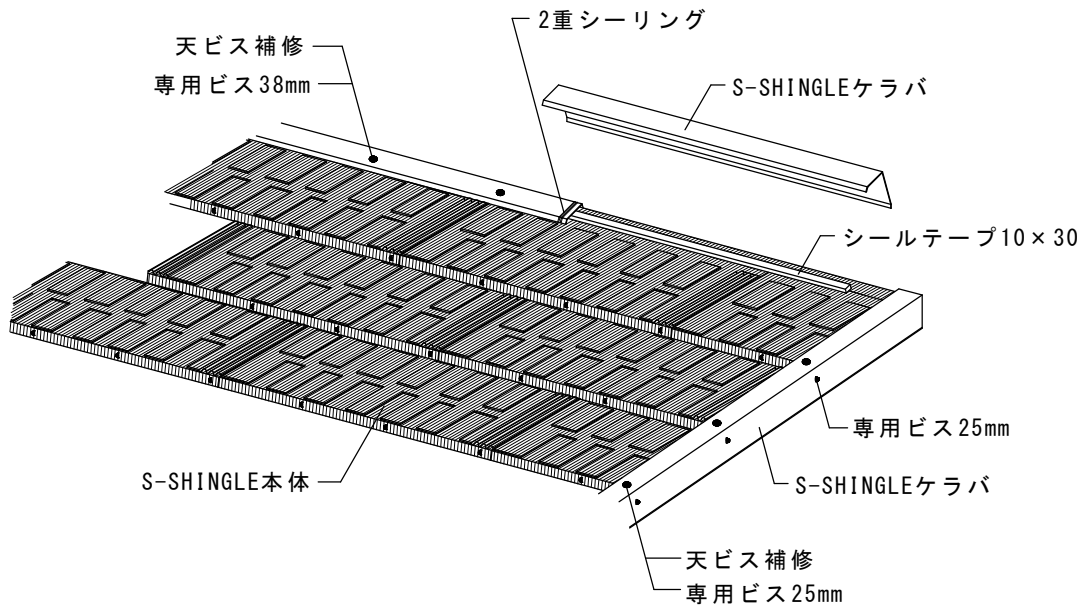
片流れ部に軒先／ケラバ水切を専用ビス25mmで約370mmピッチで固定して下さい。

S-SHINGLE本体を葺き上げシールテープ10×30を貼って下さい。

S-SHINGLEケラバのジョイントは100mm以上重ね、2重シーリングして

専用ビス38mmで約450mmピッチで固定して下さい。

天ビスは補修キットで必ず補修して下さい。



## 5 施工時の注意点

- ◇必ず屋根専門工業者が施工して下さい。
- ◇手袋を着用して取扱いして下さい。
- ◇屋根工事の作業時には必ずヘルメットを着用して下さい。
- ◇屋根面の歩行は必要な場合以外は最小限にするようにお願いします。やむを得ず屋根面上がる場合は、柔らかいゴム底の靴を履き、屋根面の歩行は本体タイルの先端寄りの重ね面を踏むようにお願いします。重なりのない中程から後ろ部分は踏まないように気を付けて下さい。
- ◇屋根面が雨や結露等で濡れている場合は滑落の恐れがあるので、乾いてから施工して下さい。
- ◇ルーフィング材の上に屋根材を重ねる場合は、固定し滑り落ちないようにして下さい。
- ◇屋根面に傷がついた場合、錆の恐れがある為速やかに修正処理を行って下さい。
- ◇丸ノコやチップソー、サンダー等を使った屋根材の切断は、切断面の腐食、錆の原因になる為使用しないで下さい。
- ◇野地板に使用する構造用合板は、12mm以上を使用して下さい。
- ◇施工中、施工後余分に挟まった石が若干落ちますが性能に問題ありません。

<販売店>

### 新東株式会社

本 社／愛知県高浜市論地町4-7-2

TEL(0566)-53-2631(代) FAX(0566)-52-2217

東京支店／東京都杉並区高円寺南1-6-11

共栄ハイツ東高円寺1F

TEL(03)-5378-7851(代) FAX(03)-5378-7853

2023年6月作成 新東株式会社